

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	地球環境時代における教育小委員会	主 査 名：吉野 博 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境本委員会	委員長名：岩田 衛
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会では、居住者のエネルギーや生活環境に対する認識を深め、自発的な地球環境保全活動や健康・快適・省エネ的な住環境創造を促すための教育実践方法を検討し、またそれを普及するためのネットワーク作りを目的とする。</p> <p>各年度の活動計画は次のとおり。</p> <p>2005 年度・地球環境時代における教育の実践事例収集と分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境時代における教育の情報ネットワークの構築と運営 ・実践的プログラムの研究と開発 <p>2006 年度・活動の取りまとめと成果公開(事例集出版、シンポジウム開催など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境時代における教育の実践事例収集と分析 ・地球環境時代における教育の情報ネットワークの運営 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 吉野博(東北大学)、三浦秀一(東北芸術工科大学)、菅原正則(宮城教育大学)、木下勇(千葉大学)、小澤紀美子(東京学芸大学)、斉藤雅也(札幌市立高等専門学校)、宿谷昌則(武蔵工業大学)、妹尾理子(住宅総合研究財団)、高橋達(東海大学)、田中稲子(名古屋工業大学)、土川忠浩(兵庫県立大学)、西川竜二(秋田大学)、光田恵(大同工業大学)、村田昌樹(OMソーラー協会)、吉野泰子(日本大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2006 年度予算	85,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/tkankyo/s1/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 環境教育用教材 学校のなかの地球(2007 年 1 月 技報堂出版 2,100 円)
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	<p>1. シンポジウム「学校のなかの地球」- 地球環境時代における住環境教育への期待 (資料名) 環境教育用教材 学校のなかの地球 (参加者数) 91 名</p> <p>2. 環境省 「学校エコ改修と環境教育」事業への支援</p> <p>この事業のモデル校に指定された下記の学校等におけるエコ改修のための検討会に委員の何人かが座長、アドバイザー、講師として参加し、活動を支援した。</p> <p>・北海道黒松内中学校 ・岩手県水沢小学校 ・東京都第七峡田小学校 ・東京都上一色南小学校 ・長野県高森南小学校 ・愛知県西春中学校 ・兵庫県多聞東中学校</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 活動の取りまとめと成果公開については、上記のように刊行およびシンポジウム開催を達成した。</p> <p>2. 地球環境時代における教育の実践事例収集と分析は、5 件前後達成された。</p> <p>3. 地球環境時代における教育の情報ネットワークの運営については、2006 年 1 月からウェブサイトが学会内サーバに移され、連絡・広報用に活用された。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 「環境教育用教材 学校のなかの地球」の刊行を契機に、各地でシンポジウム等を行い、普及・啓発に努めたい。</p> <p>2. 併せて、情報ネットワークの構築について検討を重ねたい。</p>

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。